

力」を身につけさせるとともに、縦割り班等の異年齢集団の活動を通して、郷土愛や仲間を思いやる心を育み、心身ともに健やかな成長を促進します。

子どもたちの興味や関心に応じた多様な学びの機会を提供し、一人一人の個性と才能を伸ばし、自立に向けた力を育むとともに、時代の変化に対応する魅力ある学校づくりを推進してまいります。

今年度からスタートする「第3次久米島町総合計画」に掲げられた教育関連の各課題について、一つ一つ内容を整理し着実に進めてまいります。教育は社会の礎であり、未来を切り拓く発展の原動力です。特にこれからの変化の激しい時代に必要とされる資質や能力を育むために、幼児期から高等教育段階まで切れ目のない支援を進めてまいります。良い教育の場所には人が集まることが期待され、人口減少対策の一要素にもなると考え取り組んでまいります。

①自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ幼児児童生徒を育成する、

②平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な町民を育成する、

③学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会の実現を図ること

としており、本計画の推進に向けて不断の努力を重ねてまいります。

特別な支援を必要とする児童生徒に対しては、一人一人の教育的ニーズに応じた切れ目のない支援を行うためインクルーシブ教育の推進に取り組めます。

不登校への対応としては、社会的自立を目指した「よんなあ教室」の取り組みを充実させるとともに、児童生徒が登校復帰しやすい環境づくりなど、きめ細やかな支援に努めてまいります。

ます。

学校適正規模・適正配置の取り組みについては、少子化が進む中、子どもたちが集団の中で切磋琢磨し、多様な考えに触れながら社会性を育む教育環境を確保することは喫緊の課題であり、取り組みにあたっては、文部科学省の手引きに基づき教育的視点を最優先としつつ、学校の役割や通学環境にも十分配慮し、保護者や地域住民の皆様との対話を重ねながら、本町にふさわしい学校の在り方について検討を進めてまいります。

久米島高校への支援については、魅力化事業がスタートして13年目を迎えます。これまで「まちづくりプロジェクト」、「離島留学」、「町営塾および中学校まなびや」の3つの柱で取り組んでまいりましたが、今後は3つの柱に加え、地域資源の活用、地域と連携した学びの充実を模索・検討し、取り組んでまいります。

島の将来を担う人材育成にも繋がるよう、引き続き久米島高校の魅力化に努めてまいります。



文化振興については、町民が文化活動に親しめるよう、久米島町文化協会と連携を図りながら、関連行事の活性化を促進し、文化活動の充実と発展に努めてまいります。

町立図書館「ほんのもり」においては、町民の教育と文化の発展に寄与することを目的に、引き続き、乳幼児期からの読書支援としてブックスタート事業を実施してまいります。また、学校との連携により児童生徒による本館の利活用促進を図ってまいります。

博物館では、収蔵資料の保存管理をはじめ、各種企画展示のほか、町民や児童生徒を対象とした講座や教室を開催し、歴史や文化に



関する情報発信に努めてまいります。

ホテル館では、豊かな自然環境を後世に遺すことを目的として、多くの皆様に島の貴重な自然環境について学び、知る機会を提供してまいります。

文化財保護については、災害により毀損した宇江城城跡、具志川城跡の修復を進めるほか、伊敷索城跡についても調査を継続して取り組んでまいります。

町内文化財の清掃管理についても、引き続き努めてまいります。

「リュウキュウヤマガメ」、「キクザトサワヘビ」、「クメジマボタル」などの天然記念物の保護や密猟防止に取り組んでまいります。

国指定重要無形文化財である久米島紬の技術保存と継承、普及啓発・魅力発信を積極的に推進します。